

第18回展示

2023年9月22日(金)～2024年3月24日(日)

最新の情報はホームページ等でご確認ください。

県庁舎別館展示施設

山梨近代人物館

創建時の姿によみがえった県庁舎別館において、近代山梨の発展に貢献した人物や県政のあゆみについて紹介しています。

人物紹介室

テーマに沿って9人の人物を詳しく紹介します。中央では、近代化の象徴である中央線篠子トンネルの歴史を映像で紹介しています。



昭和初期の香り漂う県庁舎別館。
近代における山梨ゆかりの人物の功績などを紹介しています。

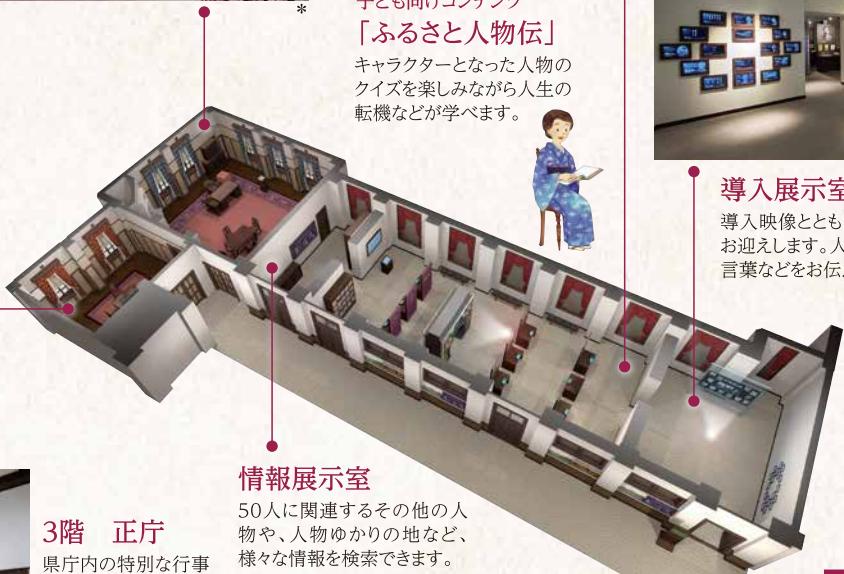
旧知事室

残された当時の家具類や写真などから、創建時の知事室の内装を復元しました。昭和初期の香りを感じてください。



県政歴史展示室

昭和初期の知事応接室です。当時の雰囲気が感じられる空間としました。中央のモニターで県政の歴史などをご覧いただけます。



子ども向けコンテンツ 「ふるさと人物伝」

キャラクターとなった人物のクイズを楽しみながら人生の転機などが学べます。



導入展示室

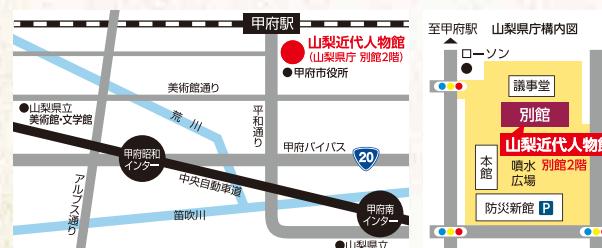
導入映像とともに50人の人物が皆さまをお迎えします。人物の功績や人物が残した言葉などをお伝えしています。



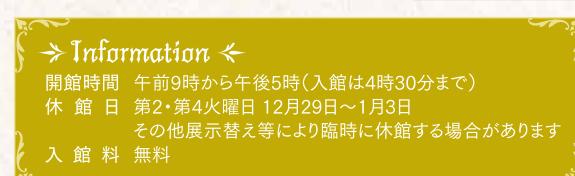
3階 正庁

県庁内の特別な行事を行う場所です。残された写真から当時の姿に復元しました。年間10回程度講座等も開催します。

*撮影:GlassEye Inc./海老原一己



防災新館地下駐車場をご利用ください(駐車無料)



山梨近代人物館

The Museum of
MODERN YAMANASHI HISTORICAL FIGURES
山梨県甲府市丸の内1丁目6番1号 山梨県庁舎別館2階
TEL.055-231-0988 FAX.055-231-0991
<https://www.pref.yamanashi.jp/ykj/index.html>



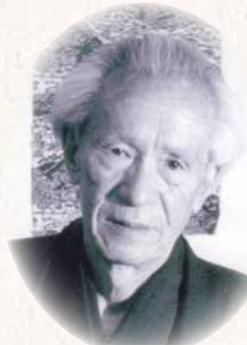
山梨近代人物館 人物紹介室

山梨近代人物館は、概ね明治時代から戦前までの間、農林業、政治・経済、国際交流、教育、芸術、学術など幅広い分野で活躍した人物50人の中から毎年2回ずつテーマに沿って9人の人物を紹介しています。



浅川 巧
Takumi Asakawa

(北杜市 1891~1931)
林業技師であり、朝鮮民芸と陶芸の研究家。朝鮮半島の植林や朝鮮の民芸、陶芸の魅力を紹介した。



浅川 伯教
Noritaka Asakawa

(北杜市 1884~1964)
彫刻家で朝鮮半島の陶磁器の研究家であり教育者。雑誌「白権」などに陶磁器に関する論文を発表、「朝鮮古陶磁の神様」と称される。



伊藤 うた
Uta Ito

(韮崎市 1868~1934)
女性が自立するための教育機関の必要性を考え、甲府市代官町に山梨裁縫学校を設立。山梨県の女子教育の充実に尽力した。



栗原 信近
Nobuchika Kurihara

(韮崎市 1844~1924)
藤村紫朗県令のもとで、山梨最初の銀行である興益社および第十国立銀行の設立と経営にあたるなど、山梨の殖産興業に尽力した。



小林 一三
Ichizo Kobayashi

(韮崎市 1873~1957)
沿線宅地開発や百貨店など、鉄道の多角経営のスタイルを生み出した阪急電鉄創業者。宝塚歌劇団・東宝などの文化芸術事業も創立している。



富岡 敬明
Keimei Tomioka

(佐賀県 1822~1909)
山梨県参事として、土肥・藤村両県令を補佐。大小切騒動の収拾や日野春開拓などの勧業政策を推進した。熊本県令などを歴任後、山梨に戻り漢詩壇で活躍した。



永峯 秀樹
Hideki Nagamine

(北杜市 1848~1927)
「アラビアンナイト」の紹介で知られる翻訳家。様々な海外の思想や文学の文献を訳し、近代日本の西洋文化の受容を推進した。



ポール・ラッシュ
Paul Rusch

(アメリカ合衆国 1897~1979)
「清里の父」とも呼ばれる清里開拓の功労者。戦後にかけて清里で酪農を取り入れた新たな農業を定着させた。財団法人キープ協会を創設。



八巻 九萬
Kumao Yamaki

(北杜市 1852~1929)
明治14年から23年まで県会議長を務め(歴代最長在任)、のちに山梨県最初の衆議院議員になる。山梨共修社を設立し、山梨県の子弟の教育環境の向上に尽力した。

第18回展示 わたしたちのまちの先駆者たち

峡北地域

峡北地域は八ヶ岳や甲斐駒ヶ岳の山麓に位置し、その優れた景観と環境から、山梨県を代表する観光地として広く知られています。その一方で、人々は寒冷な環境や利水の困難さなど、厳しい自然環境を乗り越えてきた歴史を歩んできたともいえます。このような峡北地域が輩出した人物らは、様々な困難を乗り越えていく粘り強さを備え、時に先進的な視点や行動によって、近代日本や地域の発展に貢献してきました。